

# 株式会社ジェイコムイースト 板橋局

## 放送番組審議会 議事録

平成 29 年度(2017 年度)株式会社ジェイコムイースト板橋局 放送番組審議会は、  
2018 年 2 月 23 日(金)板橋局にて開催された。

### 【放送番組審議会委員】

坂 野 文 雄 様  
鈴 木 静 雄 様  
原 田 曠 暉 様  
高 橋 泰 子 様  
佐 藤 利 信 様  
関 俊 介 様

事業者側から J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

### 【質疑応答・意見交換】進行：坂野会長

#### ■スポンサー収入に関して

##### 委員

受信料収入とスポンサー収入があると思うが、スポンサー獲得のための施策があれば教えて頂きたい。

例えば、以前より「デイリーニュース」内での告知は事後よりも事前が望ましいとお伝えしてきたが、有料での告知を行うことも考えるべきではないか。

##### 事業者

持ち出しも多いが広告獲得の営業は続けている。民放と大きく差別化するため、安価なメニューをご用意している。スポンサー出稿のみで制作費を賄えるコンテンツだけではないので、今後も注力していきたい。

#### ■特別番組について

##### 委員

「わんぱく相撲」など、特番の内容が充実していて良い。特に「第 14 回板橋音楽祭ジュニア 2017」は素晴らしい試みだったが、独自制作でコストがかさむのではないか。余力があるようであればもっと案件を紹介した

いと考えているので 2018 年度は特番を増やしていくのかを知りたい。

## **事業者**

地域へのアンテナを敏感に張りながら、今後も特番を充実させていきたい。「デイリーニュース」のようなレギュラー番組で紹介するのか、長尺で特集するべきかの議論は必要だが、地域のためになるのであれば持ち出しでも対応する用意はある。是非 情報を寄せてほしい。

### **■「デイリーニュース」について**

#### **委員**

区役所といろいろ連携して頂いて感謝している。「デイリーニュース」開始以来、様々なローカルネタを取り上げて頂いている。細かいお知らせもきちんとお伝えしていきたい。

区の広報が個別の商店街を特集すると、取材されなかったところから不満の声が出ることもあるため取り上げにくい。そうした案件を「デイリーニュース」で取材して頂けるので助かっている。

今後は少年野球などのスポーツの話題も是非 積極的に紹介してもらいたい。10 年後、J:COM が番組で取り上げた野球少年がドラフトへ…という未来を楽しみにしている。

## **事業者**

プレスリリースを配信して頂いているが、事後のリリースが多いと感じる。我々が後手に回ってしまっている点は否めないが、可能であればイベント開催前に情報を頂けると取材に伺える。プレスリリースの写真を流用して番組内で紹介することはできるが、やはりテレビなので動画の方がより伝わると思う。各所と最適な情報収集フローを構築していきたい。

### **■アプリ「ど・ろーかる」について**

#### **委員**

アプリ「ど・ろーかる」を開発されたが、「デイリーニュース」などがオンデマンド配信されているのか？

何か連携できる施策があればお願いしたい。

## **事業者**

弊社で開発したアプリで、簡単な操作でお子様からお年を召した方でもすぐに使って頂ける。定点カメラはリアルタイムで送出されており、「デイリーニュース」は局名をクリックして頂ければ 1 週間分のアーカイブをご覧になれる。

テレビ離れが叫ばれる昨今、若い世代に活用してもらおう狙い。実際に「中学生東京駅伝」の際は選手がコースから見えなくなると会場の客はアプリでレースを補完していた。生中継などで生配信を上手に使ってきたい。未加入者でもご覧頂けるので今後もアプリを充実させていく。

## ■情報の収集方法について

### 委員

板橋区の青少年健全育成事業は地域センターごとに委員会があり、各地域センターでローカルな活動が行われている。各地域センターの委員会と連携し合うと”中台地域では 3 月頭に「さくら草まつり」がある”といった細かい地域の情報まで入ってくるのではないかな。区の地域振興課も活用してほしい。

スポーツであれば区の中体連の大会情報は各先生方がお持ちなのでコンタクトを取ってみてはどうか。

また、大人のスポーツとしては区民大会が多く開催されている。例えば、軟式野球連盟は 1 部から 5 部まであるので、いろいろな種目の区民大会を取材して頂けると嬉しいと思う。

### 委員

地域の NPO や小さなボランティア団体の掌握も大事。「取材してもらえないだろう」と気後れしている方も多いので、掘り起こしてあげると良いのでは。

### 事業者

情報網の拡大は課題だと認識している。一度だけの取材で終わらないよう、地域と継続的な関係づくりをしていきたい。

## ■特徴ある催しでの目玉づくり

### 委員

板橋区から全国に発信できるような催しを創り出すのに苦労している。板橋区にはこれといった目玉がない。「板橋区民まつり」も最近では予算上の問題で風物詩であった提灯の飾り付けを止めてしまった。”(名物がないので)板橋区に行きたいと思わない”という声も聞かれる。是非 J:COM には外部からの視点で、他の街と比較して得られる良い点や改善点を教えてもらいたい。

雨もあり「板橋オリめし 2017 in かみいた」も集客に苦戦した。お祭りを開催すれば人が集まると考えがちだが、特徴がなければ結果はついてこない。

成増で 3 月に開催される「赤塚梅まつり」は段ボールなどで作った甲冑での行列を行ったり、古武道の演武があったりと印象深い。宇都宮の餃子、静岡の「大道芸ワールドカップ in 静岡」など、顔になるようなお祭りがほしい。そういう意味では「いたばし花火大会」は定着してきたと感じる。

### 委員

是非 J:COM が持っている外部の情報を還元してもらい、板橋の魅力を再発見していきたい。

### 事業者

J:COM では自治体ビジネスに力を入れており、スタンプラリーや SNS を発信源としたアプリ連動イベントの実施などの取り組みを実施している。地域と協力して発信していければと思う。

## ■外国人の視点を反映

### 委員

板橋区民約 50 万人に対してかなりの数の外国人が暮らしていると思う。

我々は観光といえば松月院などを目玉として紹介してしまいがちだが、テレビを見ていると意外な場所に世界中から観光客が集まっている。外国人は一見すると平凡な場所に魅力を感じている。

従来からの観光資源ではなく、区民から見たらつまらない場所でも観光スポットになる可能性がある。

外国人経営者の視点を取り入れて再検討すべきだと思う。板橋に在住している外国人が登場する番組があると面白い。

### 委員

最近是全国の農家に泊まる外国人観光客が増えているという。農作業を体験できる「農泊」が人気を集めているそう。こうした趣向の変化にも敏感になっていくべきだろう。

## ■J:COM だからできることを

### 委員

民放各局は視聴率が重要なので偏向しているように感じる時もある。その点 J:COM は別の価値軸を置いているからこそ、地域に対してだけでなくマスメディアとして果たす役割があると思う。

地域のいろいろな催しを取材されていることは素晴らしいが、出演している方や家族、親せき以外は興味を持ちにくい。せっかく良い番組を制作されているのに見られないのはもったいないので、他媒体への広告出稿を検討してはどうか。自社媒体以外に露出して、知ってもらうことが重要だと感じる。

### 事業者

良いものを作っても見られなければ意味がないことは重々承知しており、大きな課題だと認識している。

プロモーション強化が命題。地域新聞や新聞広告などの他媒体、SNS への出稿などのデジタル広告、駅の看板やバス・タクシーのシール広告といったアナログな方法まで実施している。J:COM を知ってもらう取り組みを続けていく。

### 委員

ものづくりの経済規模を表す“製造品出荷額等”では、かつて大田区の工場の商業地化が進んだ際に板橋区が 1 位になったこともある。J:COM の力を借りて、他所と比べた自分の強みを理解していく必要がある。共同で地元の盛り上げや地域の安心安全を考えていくべき。街の活性化に寄与するために J:COM からの

意見も求めたい。

## **委員**

地域の情報を収集して取材するだけでなく、J:COM だからこそ持ちうる情報やリソースを使って主体的にプロジェクトを仕掛けて、地域を巻き込んでほしい。受け身ではなく、J:COM 主導でいろいろな問題解決に区民を巻き込んでいくことが望ましい。是非イニシアティブをとってもらいたい。

## **■ 区政と区民の架け橋**

### **委員**

板橋区は様々な社会問題を抱えている。6 割の方が集合住宅にお住まいだが、特に賃貸の方は町会との連動も少ないのでインフルエンザなどが大流行したら陸の孤島になってしまうのではないかな。

そうした問題に対して本当に求められているケアがなされていないケースもある。

区民や各団体、企業が区長と対話できるような番組があると良いと思う。また、区議と区民が問題を語らう機会を持っていくことも必要だと感じている。

### **事業者**

区長と区とのパイプ役は J:COM の使命だと思っている。他のエリアでは区長が司会となって街を案内する「長つと散歩」という番組を立ち上げた。近隣の首長や議員を集めて対談する番組もある。今後も続けていきたい。

## **■ 子供を対象とした番組について**

### **委員**

国境なき医師団で活躍する医師に小学校で 45 分の講演をお願いしたが、子供たちは私語もなく真剣に聞いていた。質疑応答にも積極的に参加していて、子供たちの意見に耳を傾けることも大事だと感じた。

### **委員**

“子供編集会議”のように、小中学生が主体となる番組があると面白いのではないかな。

### **事業者**

横浜エリアには「こどもかいぎ」という身近なテーマを子供たちが討論する番組がある。学校の先生にとって聞きづらい問題でも、テレビを通すことで活発な議論に発展する。こうした取り組みも増やしていきたい。

## **■ 社会貢献について**

### **委員**

J:COMとして、社会貢献を行っている団体を表彰する賞をつくったらどうか？

#### **委員**

活動取材して「デイリーニュース」で紹介していき、年間で受賞者を選ぶといった展開もできる。

#### **事業者**

地方創生の一環として内閣府・農林水産省・経済産業省の後援で実施している「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」に、2016年からJ:COMとして賞を用意している。昨年は立川市プレミアム婚姻届に授与させて頂いた。

#### **事業者**

活発な議論に感謝している。頂戴した意見を活かして、地域とのコミュニケーションをつないでいきたい。  
これからも是非アドバイスを頂きながら、良い番組、良いサービスを提供していきたい。

以上